



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)  
           益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
           (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「ニューヨークでフローシップ」

この十三日と十四日の二日間にわたってレーク・エルシノーアにある「シロア温泉」でウィンタースバーグ長老教会日語部のリトリートがあった。日語部としては初めての集会だそうである。もちろん、それまでは英語と合同のリトリートがあったのだという。オレンジ郡教会でも、同じようなリトリートがもてたらどんなに良いだろうかと思われた次第である。何度も議題に上げられてきた項目ではあったが、皆の賛同を得ることが難しく今に至っている。

さて、何よりもウィンタースバーグ教会には、わが教会より古賀聖美姉が池田恒次牧師に嫁いでいる。そんなのだ。単なる隣の教会というよりも姻戚関係という親しい間柄になっている。そんなこともあって今回、お呼びいただいた訳だが、彼女のことで、もう立派に牧師夫人としての勤めを果たしている。

さて、リトリートでは二回の集会有り、「キリストにある愛のハーモニーを奏で、それを世界に伝える教会」と題して、お話しをして欲しいというリクエストがあった。二回の集会でどこまでそれに応えられたのか、もとより恐れおののくようなご用であったが、皆様のお祈りに支えられて無事、ご用をまっとうすることが出来て感謝であった。改めて皆様の尊いお祈りを感謝したい。

さて、そこは硫黄の匂いのある本物の温泉が出る。そこで夜の集会の後、ジャクジに入ってまさに「ニューヨークでフローシップ」(この解釈はご想像にお任せ)と相なった。多くの参加者はご自分の体型をお気になさってか、ジャポンと入ったのは僕をはじめ5、6人もいただろう。他の参加者は池田先生はもとより足湯でジャクジの周りに座するだけ。せつかく温泉に来て何とももつたない話である。だが実は、そこに居るだけで笑い声が絶えないのである。湯船に浸かっている人は座している人に「どうして入らないの？」などと切り切ったことを尋ねるのだが、ある年齢以上の女性たちにそれを答えさせるのは酷というものである。でも、その会話が次第にお互いの心を開いていった。それに食事もすべてウィンタースバーグ教会で準備をするので、食事の時も、グループ分けの時も、同室で休む時も教会だけでは味わえない交わりがある。

詩篇百三十三篇1節に「見よ、兄弟が和合して共におるのは、いかに麗しく楽しいことであろう」というダビデの詩がある。共に神を礼拝し、共に交わるということがどれだけ素晴らしい祝福であるかを詩っている。温泉だから心が温かくさせられるということではないが、フローシップもおつなものである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

